

観光地域づくり法人形成・確立計画

記入日：令和6年7月31日

1. 観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを ○で囲むこと	広域連携DMO・地域連携DMO・地域DMO	
観光地域づくり法人の名称	(一社) ななお・なかのとDMO	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 七尾市、中能登町	
所在地	石川県七尾市	
設立時期	平成29年11月28日「(一社) ななお・なかのとDMO」設立	
事業年度	4月1日から翌年3月31日までの1年間	
職員数	15人【常勤15人(正職員10人・派遣1人)、臨時職員4人】	
代表者(トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者)※必ず記入すること	(氏名) 理事長 谷崎 裕 (出身組織名) 和倉温泉旅館協同組合	DMO設立時から副理事長として地域の様々なパイプ役となり、長年にわたり本市の観光及び経済に寄与し、当エリア外を含めた観光振興の牽引役として活躍。(令和2年6月より現職) 七尾市産業賞受賞。(令和4年11月3日受賞)
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者(CMO：チーフ・マーケティング・オフィサー)※必ず記入すること	(氏名) 遠藤 敦「専従」 (出身組織名) 七尾市	平成28年度より七尾市観光交流課に勤務し、DMO設立に携わる。地域観光の推進及び観光拠点施設(和倉温泉お祭り会館)を整備し、観光地域づくりを推進している。令和2年度よりDMOへ派遣。令和4年度より正規職員となる。 現専務理事兼事務局長
財務責任者(CFO：チーフ・フィナンシャル・オフィサー)※必ず記入すること	(氏名) 遠藤 敦「専従」 (出身組織名) 七尾市	平成28年度より七尾市観光交流課に勤務し、DMO設立に携わる。地域観光の推進及び観光拠点施設(和倉温泉お祭り会館)を整備し、観光地域づくりを推進している。令和2年度よりDMOへ派遣。令和4年度より正規職員となる。 現専務理事兼事務局長
プロモーションの責任者(専門人材)※各部門責任者のうち専従の者については、氏名の右横に「専従」と記入すること	(氏名) 吉水 紀章「専従」 (出身組織名) ワールドビジネスセンター(株)	システムの総合サービス提供会社に勤務していた経験を活かし、WEB・SNS・動画などを活用した情報発信業務を行い、各種団体と連携を図りながら、プロモーションを担当。

旅行商品の造成・販売の責任者（専門人材）	（氏名） 吉水 紀章「専従」 （出身組織名） ワールドビジネスセンター(株)	石川県と連携したプロモーション活動やA G T 担当として、各種旅行商品の造成や商談会などにおいて、旅行商品の造成・P R 活動を担当
インバウンド誘客の責任者（専門人材）	（氏名） SUMI DEWI DESSARI「専従」 （スミデウィデッサリ） インドネシア人 （出身組織名） 国立ガジャ・マダ大学 卒	インドネシア最高峰のガジャ・マダ大学で日本文学を専攻。日本語・英語両方の語学力を持ち、令和2年3月より、インバウンド施策担当者として雇用。（在留資格認定証明書あり）
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	<p>【七尾市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流推進課（観光交流施策、観光情報の提供、能登空港利用助成、合宿、修学旅行、祭り・イベント運営支援、観光統計、観光施設管理） ・産業振興課（産業振興、移住定住、雇用の創出、商工業の振興、創業支援、伝統工芸産業の振興、企業誘致、港湾の利用促進） ・農林水産課（農業・畜産・水産・林業振興、能登野菜、水産物ブランド化） ・都市建築課（社会資本整備、公園・緑地管理、景観形成、建築指導） ・企画政策課（総合計画、総合戦略、地方公共交通、ふるさと納税） ・防災交通課（防災に係る政策、交通安全・防犯） ・スポーツ・文化課（歴史・文化考証、文化施設管理、文化財の保存活用） <p>【中能登町】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画課（長期計画・統計調査、定住促進、地域公共交通、町祭（イベント）、商工振興、特産品開発、観光振興業務、観光施設管理） ・農林課（農業・畜産・水産・林業の振興、有害鳥獣駆除） ・土木建設課（町営住宅、分譲宅地の造成、景観形成の推進） ・総務課（消防防災、交通安全・防犯、公園等施設管理、町有バス運行） ・生涯学習課（歴史・文化考証、国際交流、文化財の保護） <p>【石川県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光戦略推進部観光企画課 （観光戦略・企画立案、観光誘客イベント、温泉地活性化、観光人材育成） ・観光戦略推進部誘客戦略課・新幹線県内全線開業P R推進室 （観光誘客戦略全般、宣伝及び観光客の誘致） ・観光戦略推進部国際観光課 （国際観光施策全般、海外誘客促進、外国人観光客の受入体制、通訳案内士） ・観光戦略推進部国際交流課 （国際交流の総合的企画・調整、国際交流・協力事業） ・教育委員会文化財課世界遺産推進室 （歴史・文化考証、ユネスコ無形文化遺産、日本遺産） 	
連携する事業者名及び役割	1. 着地型旅行商品 <ul style="list-style-type: none"> ・和倉温泉観光協会 ・能登島観光協会（修学・教育旅行受入） ・中能登町観光協会 ・（一社）中能登スローツーリズム協議会 	

2. 宿泊施設
 - ・和倉温泉旅館協同組合
 - ・能登島旅館民宿飲食店組合
 - ・ハートランドヒルズ in 能登@いおり
 - ・ホテル アリヴィオ
 - ・ホテルルートイン七尾駅東
 - ・都忘れ七尾湾リゾート能登小牧台
 - ・おり姫の宿くつろぎ
 - ・古民家の宿えにし屋
 - ・一棟貸しの宿 大吞ビレッジ遊心庵
3. 広域観光連携
 - ・公益社団法人石川県観光連盟
 - ・(一社) 能登半島広域観光協会
 - ・飛越能経済観光都市懇談会
 - ・ユネスコ5大祭連携PR部会
 - ・(一社) 昇龍道ドラゴンルート推進協議会
4. 持続可能な観光連携
 - ・能登DMC合同会社
5. 商環境改善・産業観光（物産開発）
 - ・七尾商工会議所
 - ・能登鹿北商工会
 - ・中能登町商工会
 - ・能登繊維振興協会（能登テキスタイル・ラボ）
6. 観光ボランティアガイド
 - ・ボランティアガイドはろうななお
 - ・能登國 石動山を護る会
 - ・不動滝を護る会
 - ・雨の宮を護る会
 - ・基石ヶ峰を護る会
 - ・歴史ボランティアガイド「いするぎ夢案内」
7. 飲食・物産・商店関係
 - ・七尾特産品協会
 - ・和倉温泉商店連盟
 - ・一本杉通り商店街
 - ・東部商店街
 - ・中央通り商店街
 - ・リボン通り商店街
 - ・株式会社 能登風土
 - ・農家レストラン 太郎右衛門
 - ・農家レストラン まる
 - ・信寿し、貴寿司、大将寿し、千代ずし、松乃鮎、ちゃか寿し、寿しー
 - ・お食事処 おおのみんな
8. 演劇・歴史・祭文化
 - ・(公財) 演劇のまち振興事業団
 - ・(公財) 七尾城址文化事業団（七尾城史資料館・懐古館・飯田家）
 - ・石動山資料館
 - ・雨の宮能登王墓の館
 - ・能登の國・七尾城プロジェクト実行委員会

- ・青柏祭でか山保存会（ユネスコ無形文化遺産）
 - ・能登島向田町火祭り実行委員会（県指定無形民俗文化財）
 - ・石崎奉燈祭奉賛会（日本遺産）
 - ・日本遺産「灯り舞う半島 能登 ～熱狂のキリコ祭り～」活性化協議会
 - ・久麻加夫都阿良加志比古神社氏子総代（国指定重要無形民俗文化財）
 - ・山の寺道交会（山の寺寺院群）
 - ・七尾まだら保存会
 - ・のと里山里海ミュージアム（里山里海の魅力伝承）
 - ・鶴様道中の宿（鶴祭／国重要無形民俗文化財）
 - ・花嫁のれん館（婚礼文化／（一社）七尾家）
 - ・能登上布振興協議会（能登上布の歴史・体験観光）
 - ・能登國二之宮 天日陰比咩神社（どぶろく製造）
 - ・万葉の島、机島磨き上げプロジェクト実行委員会
9. 食文化
- ・JA能登わかば
 - ・石川県鮭商生活衛生同業組合
 - ・七尾菓子業組合
 - ・能登ふぐ事業協同組合
 - ・中能登町料理飲食組合
 - ・農事組合法人 能登やまびこ
10. 地域交通・アクティビティ
- ・西日本旅客鉄道株式会社金沢支社（１次・２次交通）
 - ・のと鉄道株式会社（２次・３次交通）
 - ・北鉄能登バス株式会社（２次・３次交通）
 - ・石川県バス協会、石川県タクシー協会（３次交通）
 - ・加越能バス株式会社（２次・３次交通）
 - ・高岡和倉間高速バス路線維持対策協議会（わくライナー〔高岡・氷見・七尾〕）
 - ・能登島交通株式会社（２次・３次交通）
 - ・石川交通株式会社七尾営業所（２次交通）
 - ・株式会社 石和タクシー（２次交通）
 - ・株式会社 丸一観光（２次交通）
 - ・株式会社 大蔵（２次・３次交通）
 - ・株式会社 DOKKA（超小型EV）
 - ・小牧ボートパーク（マリンアクティビティ）
 - ・株式会社ひかりや（マリンアクティビティ）
 - ・café 遊帆（セーリング関連）
 - ・Dolphin Smile（イルカウォッチング）
11. 観光施設、美術館
- ・香島津〔道の駅 能登食祭市場〕（観光物産施設）
 - ・七尾フラワーパークのと蘭ノ国
 - ・和倉昭和博物館とおもちゃ館
 - ・石川県七尾美術館
 - ・のとしま臨海公園水族館
 - ・能登島ガラス工房
 - ・道の駅のとしま（のとしま交流市場）
 - ・石川県能登島ガラス美術館
 - ・ひよっこり温泉 島の湯
 - ・道の駅「織姫の里なかのと」

	12. 金融 ・七尾市銀行会
官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み	<p>【該当する登録要件】①② (概要)</p> <p>なお・なかのとDMOでは、法人としての重要な事案については「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」に基づき、総会（年1回程度）及び理事会（年4回程度）において、意思決定を行っている。理事会は、七尾市・中能登町に存在する3つの観光協会や商工会議所・商工会・広域観光協会・宿泊業・地方公共団体のコアメンバーで構成され、会員についても同様に多様な関係者が参画し、地域の意見を集約している。</p> <p>また、なお・なかのとDMOとしては、背景となるマジョリティは主に「観光と商工に関わる地域の方々」と考えており、これまで、多様な関係者を巻き込みながら、各種事業の取り組みの方向性などの検討会を随時開催し、観光戦略の策定における「戦略プラン作成委員会」を立ち上げ、グループワークなどを通して観光地域づくりの方針を策定してきている。</p> <p>令和5年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、観光の在り方が大きく変化し、令和6年3月の北陸新幹線敦賀延伸（県内全線開業）における関西からの直結輸送がなくなり、乗り換えの煩雑さから誘客の低迷が推測されることから「なお・なかのと観光振興プラン」を多用な関係者を巻き込みながら抜本的に見直しの作業（ワーキンググループなど）を行っていたが、能登半島地震の影響により、見直し作業が中断してしまった。</p>
地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組	<p>不定期ではあるが、自治体の広報誌及び新聞への掲載を依頼し、DMOの活動を紹介。</p> <p>各事業の取り組みについても関係者（地域団体等含む）及び地域の方々を巻き込みながら参画していただき、事業に取り組んでいる。</p> <p>観光まちづくりの地域全体での推進のため、地域住民への啓発を図り、機運や醸成を進めるため、DMOが主催する観光地域づくりに関する講演会や勉強会を開催し、緑化運動への協力も募りながら、地域一丸となった観光地域づくりの意識啓発に取り組んでいる。</p> <p>また、インバウンドの増加等を見据えた地域の受け入れ環境向上への対策も継続してサポートしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度（一社）なお・なかのとDMO事業報告会（地震により中止） ・第2次なお・なかのと観光振興プラン策定業務 [ワークショップ] 企画講座「地域戦略の作り方」／WS「地域資源の棚卸」11/09 企画講座：WS「エリア内の感情価値を高める要素抽出」11/29 講演会「ウェルネスツーリズムの可能性」／WS「SWOT分析」12/11 ・わくわく英会話教室（14回） ・訪日外国人おもてなし研修（9/27） ・緑のまちづくりモデル事業（遊休地等に芝桜植樹）

法人のこれまでの活動実績	【活動の概要】	
	事業	実施概要
	情報発信・プロモーション	<p>【2023 年度（令和 5 年度）事業】</p> <p>具体事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種パンフレットの増刷 ・ 県と連携した旅行商品プロモーション会議参加 ・ 国際ランドオペレーター商談会参加 ・ 北陸観光PR会議及び北陸地区観光商談会参加 ・ 北陸DC全国宣伝販売促進会議参加 ・ 北陸三県修学旅行オンライン商談会参加 ・ Web、SNS 記事広告 ・ 電子雑誌「旅色 FO-CAL 七尾」増刷 ・ 第 1 回国際ウェルネスツーリズムEXPO参加 ・ 宿・食・温泉なら能登七尾！観光物産展参加（KITTE 丸の内） ・ ツーリズムEXPOジャパン 2023 大阪・関西参加 ・ 2023 たけふ菊人形「北陸新幹線沿線フェア」参加 ・ 第 30 回全国山城サミット参加 ・ 各種広告の実施
	受入環境の整備	<p>【毎年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JR七尾・和倉温泉駅内観光案内所運営（能登半島地震の影響により 1 月 2 日より休所） ・ ボランティアガイドとの相互協力・支援 <p>【2023 年度（令和 5 年度）事業】</p> <p>具体事業内容</p> <p>[総務省]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活性化企業人制度 <p>[観光庁]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広域周遊観光促進のための専門家派遣事業 ・ インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業（訪日外国人おもてなし研修） ・ 地域観光資源の多言語解説整備支援事業 <p>[国土交通省]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みなとを核としたまちづくり（みなとオアシス和倉温泉登録） <p>[石川県]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 緑のまちづくりモデル事業

	観光資源の磨き上げ	<p>【2023 年度（令和 5 年度）事業】</p> <p>具体事業内容</p> <p>[観光庁]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業 ・観光再始動事業（県国際観光課） ・地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業（能登島交通株式会社） <p>[石川県]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験型観光素材開発支援事業 <p>[DMO単独等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北陸DCに向けた観光素材開発事業 ・着地型旅行商品の提案及び造成 ・「能登ふるさと博」市町等実施事業 																														
<p>実施体制</p> <p>※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。</p>	<p>【定量的な評価】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>決算額(千円) (収益)</td> <td>597</td> <td>41,056</td> <td>23,256</td> <td>8,951</td> <td>3,021</td> </tr> <tr> <td>会員数</td> <td>46</td> <td>58</td> <td>69</td> <td>79</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td> 正会員</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td> 賛助会員</td> <td>32</td> <td>44</td> <td>55</td> <td>65</td> <td>64</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実施体制の概要】</p> <p>（一社）ななお・なかのと DMO の理事会は、行政（七尾市・中能登町）、観光団体、宿泊業者、飲食業者、経済団体がコアメンバーとなっており、意思決定を行っている。その他に交通事業者、文化財関係者、商工業・経済界、農林水産業、地域で活躍している団体など多様な関係者を会員とし、意見を集約し活動に反映させている。これらの多様な関係者が DMO 事業に参画し、官民が密接に連携した観光地域づくりに取り組んでいる。</p> <p>【実施体制図】</p> <p style="text-align: center;">一般社団法人ななお・なかのとDMO</p>			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	決算額(千円) (収益)	597	41,056	23,256	8,951	3,021	会員数	46	58	69	79	78	正会員	14	14	14	14	14	賛助会員	32	44	55	65	64
		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度																										
決算額(千円) (収益)	597	41,056	23,256	8,951	3,021																											
会員数	46	58	69	79	78																											
正会員	14	14	14	14	14																											
賛助会員	32	44	55	65	64																											

2. 観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

①いにしへの伝説・伝統と演劇文化エリア

お熊甲祭(国指定重要無形民俗文化財)や俳優「仲代達矢」氏のアドバイスをうけた日本を代表する演劇専用ホール「能登演劇堂」を始め、万葉集の編者として知られる「大伴家持」が訪れた地である。三百有余年の歴史を誇る田鶴浜建具もあり、格調高く歴史あるエリアである。

また、環境に配慮したバードウォッチングを楽しむことができる田鶴浜野鳥公園、冬の味覚として有名な日本海随一の生産量を誇る能登牡蠣がある。

②教育滞在アイランドエリア

四方を海に囲まれ、山海の幸に富み、風光明媚な景勝地である。(能登半島国定公園)

水族館・海水浴場・キャンプ場・温泉・ゴルフ場などのレジャー施設も多く、石川県で最も長い橋である「能登島大橋」や「ツインブリッジのと」の2つの橋がかかり、交通の便が向上することにより、来訪客は多くなっている。教育旅行及びスポーツ合宿を推進し、交流人口拡大を図っているエリアである。

③渚の温泉おもてなしエリア

能登の拠点となる和倉温泉は、開湯1200年余の歴史を誇り、お湯はもとより海の幸がたっぷり味わえる温泉地であり、温泉旅情を満喫できるエリアである。合宿拠点施設も整備され、能登島(②エリア)と連携をとりながら、長期滞在型の観光交流を図り、スポーツ合宿の拠点ともなっている。

④祭りと産業・食の王国エリア

11万人超を集めるユネスコ無形文化遺産「青柏祭」や「モンレージャズフェスティバル in 能登」など多種多様のイベントが開催され、古来より、北前船寄港地として発展してきた七尾市街地はDMO管轄エリアの中でも人口集積が高い「街の魅力」を持つエリアである。七尾仏壇や和ろうそくの伝統産業をはじめ、桃山時代に活躍した日本を代表する画家である「長谷川等伯」の生誕地として知られ、七尾美術館や花嫁のれん館などの芸術・文化を味わえるエリアである。また、天然の生贄「七尾湾」でとれる旬な魚介を使った寿司は絶品であり、「寿司王国七尾」として、クオリティを誇るとともに、「くちこ」「このわた」などの珍味もこのエリアならではの名産となっている。

⑤生活文化と歴史資源エリア

能登国分寺跡附建物群跡(国指定史跡)、日本五大山城に数えられる七尾城址(国指定史跡)、前田利家の出世城として知られる小丸山城址公園や山の寺院群など数多くの歴史を物語る古墳や遺跡などが七尾市内に点在している。また、中能登町には、全国の石動山信仰の中心地であり、信仰の山として栄えた国指定史跡「石動山」が存在し、一帯は里山文化とともに歴史資源が時代を重ねて息づいている。中能登町では北陸最大規模の古墳群が集積しており、4世紀後半から5世紀初頭にかけて造営された様々な古墳群を見ることができる。特に宮内庁直轄の小田中親王塚古墳は、平家物語にも表記されているとともに国指定史跡の雨の宮古墳群をはじめ確認されただけでも540基の古墳を有しており、古墳の歴史を学ぶには最適な場所ともいえる。加えて、古くから能登上布(県指定無形文化財)や現在も続く繊維産業などの生活文化に根差した伝統産業も存在している。また、古来より往来が盛んであった表街道の東街道筋と西街道筋の東西の能登街道に、日本最古のおにぎりの化石(学術的には、チマキ状炭化米塊)が発見され、その事実を活かして、道の駅などで古代米のおにぎりが味わえるようにしている。3つの神社で江戸時代から受け継がれる「どぶろく」の醸造が行われていることから「どぶろく」特区にも認定されており、農家レストランや農家民宿で「どぶろく」を楽しむことができ、「どぶろく」同様に発酵食文化を活かした「かぶら寿司」や里山料理「いのしし鍋」など地元食との組み合わせも味わえる。更には、東西の能登街道沿いにおいて「オケラ餅神事」・「三番叟」・「鎌打ち神事」・「鵜祭り」・「ばっこ祭り」・「あだけ祭り」・「星祭り」などの伝統神事(奇祭)が今なお受け継がれている。人間が生きていく上で、必要な「衣・食・住」の文化が東西の能登街道を中心に創出されている。

【観光客の実態等】

平成27年3月の北陸新幹線金沢開業から9年経過する中、金沢開業以来、北陸新幹線利用者は増加傾向となっているが、当エリアでの新幹線効果の恩恵は一段落している状況が続いている。

また、観光面でのプラスの要素としては、小松-台湾便(エバー航空)が3年ぶりに運行再開され、小松-ソウル便(大韓航空)の運行も再開された。加えて、新型コロナウイルス感染症法上の位置づけが、季節性インフルエンザと同じ5類へ移行され、全国的にも観光需要は回復傾向となった。

しかしながら、当エリアとしては、5月に震度4を観測する奥能登地震の影響により、和倉温泉各旅館において、キャンセルが継続的に発生し、年明けの1月1日には能登地域などに甚大な被害をおよぼした能登半島地震により、観光需要は一気に減少してしまった。これらのことから、令和5年度の観光入込客数については、能登半島地震の影響により、未回答の観光施設も多い中での統計数値となるが、1,746千人となり、昨年度と比較すると1,447千人の減少となる。

このような状況の中、当エリアに観光客等が安心して訪れることができるよう復旧・復興に努め、地域の多様な関係者と連携しながら、復興へと向けた観光の魅力向上と誘客に向けた観光コンテンツの造成及び各種プロモーション活動を展開していく必要がある。

観光入込客数の推移

〔七尾市〕

単位：人

区分／年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
宿泊施設（日帰り込）	948,324	538,705	540,521	737,327	627,918
観光施設	2,435,829	1,504,175	1,525,482	2,079,900	1,663,156
イベント	387,737	1,050	1,180	148,800	251,408
七尾市 合 計	3,771,890	2,043,930	2,067,183	2,966,027	2,542,482

※観光施設の入込については能登半島地震の影響により、未回答の施設あり

〔中能登町〕

単位：人

区分／年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
宿泊施設	12,301	6,968	5,521	8,653	9,124
観光施設	297,531	187,317	201,944	236,157	219,917
イベント	28,903	23,017	20,640	1,674	1,674
中能登町 合 計	338,735	217,302	228,105	246,484	230,715

〔総計（七尾市・中能登町）〕

単位：人

区分／年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
宿泊施設	960,625	545,673	546,042	745,980	637,042
観光施設	2,733,360	1,691,492	1,727,426	2,316,057	1,883,073
イベント	416,640	24,067	21,820	150,474	253,082
総 計	4,110,625	2,261,232	2,295,288	3,212,511	2,773,197

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

<七尾市>

七尾市は石川県の北部、能登半島の中央に位置し、波穏やかな天然の良港として栄えてきた七尾港を海の玄関口とし、古代より能登の政治・経済・文化の中心地として発展してきた地である。

渚のいで湯として全国的に有名で、開湯 1200 年を迎えた「和倉温泉」や「のどしま臨海公園水族館」、「能登島ガラス美術館」、「ひよっこり温泉島の湯」など様々なリゾート施設を有する能登島などの観光資源、長い歴史に培われた、「田鶴浜建具」、「七尾仏壇」、「七尾和ろうそく」などの伝統工芸などの産業資源、豊かな自然や風土に育まれた「能登牡蠣」を始めとする新鮮な魚介類、「能登野菜」などの農林水産資源など、多くの地域・観光資源に恵まれており、先進国で初めて世界農業遺産に認定された「能登の里山里海」に代表される豊かな自然はもとより、ユネスコの無形文化遺産である「青柏祭の曳山行事」や日本遺産の「キリコ祭り」に代表される祭り等、伝統文化が色濃く残り、日本の原風景とも言える地域である。

また、「七尾まだら」、「七尾豊年太鼓」などの伝統芸能から「能登和倉万葉の里マラソン」などのスポーツ、「モンテレージャズフェスティバル」などの音楽まで、多種多様なイベントが開催されている。

<中能登町>

中能登町は、能登半島のほぼ中央に位置し、南は羽咋市、西は志賀町、北は七尾市、東は富山県氷見市と接しており、邑知潟地溝帯を中心に平野部が七尾市から羽咋市まで広がる。東側が国指定史跡の「石動山」、西側は「日本最古のおにぎり」が見つかった眉丈山をそれぞれ中心とし、田園を取り巻く丘陵地の緑、潤いのある河川や自然にも恵まれており、「雨の宮古墳群」、「川田古墳群」「杉谷チャノバタケ遺跡」など数多くの遺跡を残し、能登文化発祥の地として豊かな自然と文化遺産に恵まれている。

また、産業では長い歴史を誇る「能登上布（県無形文化財）」が有名で、能登上布会館で織物の体験をすることができ、スポーツでは舗装されていない野山を走る「中能登トレジャートレイルラン」など多種多様なイベントが開催されている。

当エリアでは、歴史・文化・自然・伝統・食などの資源が多く、魅力ある観光資源を堪能することができる。

区 分	観 光 資 源
温泉	和倉温泉、和倉温泉総湯、ひよっこり温泉島の湯、なかじま猿田彦温泉いやしの湯
商業施設	道の駅能登食祭市場、道の駅のとじま交流市場、道の駅織姫の里なかのと
美術館・博物館	石川県七尾美術館、石川県能登島ガラス美術館、和倉昭和博物館とおもちゃ館、のと里山里海ミュージアム、イソライト珪藻土記念館
キャンプ・海水浴場	家族旅行村 We ランド、マリnpark海水浴場・松島オートキャンプ場・海水浴場、勝尾崎キャンプ場、鶴浦海水浴場、ハケ崎海水浴場、ハートランドヒルズ in 能登@いおり
自然・体験	ふれあいセンター山びこ荘、田鶴浜野鳥公園、赤蔵山憩いの森(御手洗池)、藤瀬の水、イルカウォッチング、海ほたる、のとじま水族館、能登島ガラス工房、能登上布会館、石動山ブナ林、碁石ヶ峰、不動滝、ヨットセーリング、マリnakティブィティ(SUP、カヤック)
文化・歴史	小丸山城址公園、国指定史跡七尾城跡、大地主神社、能登生國玉比古神社、鹿渡島観音、懷古館(飯田家)、座主家、明治の館(室木家)、大覚寺(北國八十八ヶ所霊場)、山の寺寺院群(瞑想の道)、御便殿、七尾まだら、東嶺寺、田鶴浜建具、七尾仏壇、和ろうそく、一本杉通り、花嫁のれん館、七尾城址資料館、万行遺跡、能登国分寺展示館、須曾蝦夷穴古墳、中島お祭り資料館・伝承館、和倉温泉お祭り会館、能登演劇堂、雨の宮古墳群、石動山(大宮坊・旧観坊)、石動山資料館、古民家みおやの里、古民家旧丹後邸、ふるさと創修館、中能登町織物デザインセンター、能登テキスタイル・ラボ、鶴様道中の宿
スポーツ・合宿拠点施設	七尾コロサスキー場、和倉ゴルフ倶楽部、能登島ゴルフ&カントリークラブ、中島学童専用野球場、和倉温泉運動公園多目的グラウンド、和倉温泉運動公園テニスコート、和倉温泉運動公園ヨットハーバー、能登島グラウンド、のと蘭ノ国、健康増進センターアスロン、県立鹿島少年自然の家、中能登町運動公園
祭事	青柏祭、石崎奉燈祭、七尾祇園祭、お熊甲祭、塩津かがり火恋祭、新宮納涼祭、六保納涼祭、能登島向田の火祭、虫送り、鶴祭り、左義長、起船、石動山開山祭、不動滝の滝開き、オケラ餅神事、三番叟、鎌打ち神事、ばっこ祭り、あだけ祭り、星祭り
食	祭りごっつお、ながまし、大豆飴、崎山いちご、能登野菜、茶碗豆腐、もずく、イイダコ、能登なまこ、能登ふぐ、能登かき、かぶら寿し、巻鰯、すし王国能登七尾、鱈、カラー野菜、どぶろく
イベント	七尾港まつり、モンテレージャズフェスティバル in 能登、七尾城祭り、能登よさこい祭り、和倉温泉花火、花嫁のれん展、能登和倉万葉の里マラソン、のとじま手まつり、能登島ロードレース、なかのと桜まつり、石動山秋のつどい、中能登町祭「織姫夏ものがたり」、中能登トレジャートレイルラン、七尾湾能登牡蠣祭、雨の宮古墳まつり、どぶろく祭り

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

地域	旅館		ホテル		簡易宿所		会社・団体の 宿泊所		合 計	
	軒数	収 容 人 員	軒数	収 容 人 員	軒数	収 容 人 員	軒数	収 容 人 員	軒数	収 容 人 員
七尾市										
和倉温泉	23	6,328	4	563	6	115	0	0	33	7,006
旧能登島町	3	105	0	0	33	714	0	0	36	819
その他	9	422	6	438	20	245	1	70	36	1,175
計	35	6,855	10	1,001	59	1,074	1	70	105	9,000
中能登町										
中能登町	0	0	0	0	8	239	0	0	8	239
総 計										
七尾市・中能登町	35	6,855	10	1,001	67	1,313	1	70	113	9,239

統計からみた石川県の観光 令和4年より（令和4年10月1日現在）

令和4年10月1日現在で、七尾市内の宿泊施設は合計で105軒・収容人員9,000人となっており、中能登町の宿泊施設は合計で8軒・収容人員239人となっている。

七 尾 市 軒 数：101軒（令和3年）→ 105軒（令和4年）4軒増

収容人数：9,026人（令和3年）→ 9,000人（令和4年）26人減

中能登町 軒 数：8軒（令和3年）→ 8軒（令和4年）増減無し

収容人員：231人（令和3年）→ 239人（令和4年）8人増

〔七尾市・中能登町 宿泊施設総数の比較（R元-R4）〕

年	令和元年 軒数／ 収容人数	令和2年 軒数／ 収容人数	令和3年 軒数／ 収容人数	令和4年 軒数／ 収容人数	増減 軒数／ 収容人数	施設数・収容力・施設規模等
地域						
和倉温泉	30／7,017	30／7,007	33／7,078	33／7,006	3／△11	
能登島	30／833	31／848	35／861	36／819	6／△14	
その他	22／929	24／964	33／1,087	36／1,175	14／246	
中能登町	4／219	6／228	8／231	8／239	4／20	平成元年比較すると、施設数及び収容人数が増加(27軒／241人) 石川県能登地域においては、一定以上の施設数、収容人数を確保している。
総計	86／8,998	91／9,047	109／9,257	113／9,239	27／241	

統計からみた石川県の観光 令和4年より（令和4年10月1日現在）

【利便性：区域までの交通、域内交通】

1. 鉄道（鉄路）

鉄道については、平成27年3月の北陸新幹線金沢開業により、首都圏からのアクセスが飛躍的に改善された。一方で、令和6年3月16日において、もう一つの開業である北陸新幹線金沢-敦賀開業では移動時間短縮の効果はあるが、敦賀駅・金沢駅での乗り換え問題が生じている。これまで和倉温泉と関西を行き来する際、これまで特急1本で移動できたが、乗り換えによる利便性の低下が懸念されることから、関西圏方面へのプロモーション活動を強化していく必要がある。

当エリアにはJR七尾線観光列車「花嫁のれん」、のと鉄道観光列車「のと里山里海号」の2つの観光列車が運行されていることは大きな魅力となっている。

（1）東京方面から 北陸新幹線（金沢駅下車）、七尾線に乗り換え 約3時間30～50分

（2）名古屋方面から 東海道新幹線（米原駅下車）、特急「しらさぎ」（敦賀駅下車→北陸新幹線乗り換え）、北陸新幹線（金沢駅下車）、七尾線に乗り換え
約4時間20分

（3）大阪方面から 特急サンダーバード（敦賀駅下車→北陸新幹線乗り換え）、北陸新幹線（金沢駅下車）、七尾線に乗り換え 約4時間

2. 飛行機（空路）

小松空港（「訪日誘客支援空港／国交省認定」）については、国内定期4路線（羽田・新千歳・福岡・那覇）に加え、国際定期路線が3路線（台北・上海・ソウル）が就航している。

- ・小松-台北便（エバー空港） 運行再開 [R5. 04. 01]
- ・小松-台北便（タイガーエア台湾） 運行再開 [R5. 07. 02]
- ・小松-上海便（中国東方空港） 運行再開 [R5. 12. 17]
- ・小松-ソウル便（大韓航空） 運行再開 [R5. 12. 28]

また、のと里山空港については、羽田便に加え、台北からのチャーター便が運航されている。

- ・台北→能登 チャイナエアライン 09/29、10/07、10/11、10/15

1月1日の能登半島地震により、滑走路数カ所に亀裂が入り旅客便の運行が停止したが、1月27日から1日1往復の臨時便が運航された。

能登半島地震の影響もあるが、国内外から幅広く集客できる環境が整備されている。

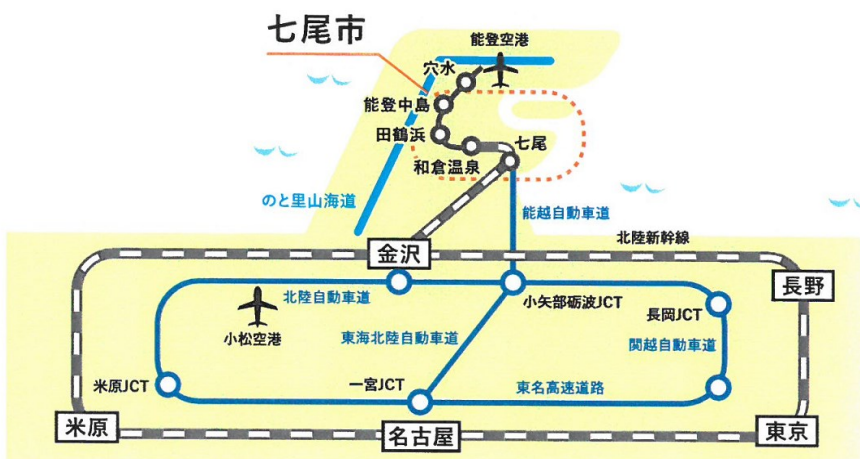
- (1) 羽田空港 ⇄ のと里山空港
のと里山空港から車両で約40～50分
- (2) 羽田空港 ⇄ 小松空港
小松空港から車両で約1時間30分～40分
- (3) 羽田空港 ⇄ 富山きときと空港
富山きときと空港から車両で約1時間～15分

3. 自動車（陸路）

道路については、北陸新幹線金沢開業に合わせて開通した能登地域と三大都市圏を結ぶ「能越自動車道七尾氷見道路」と平成25年3月に無料化された金沢と能登を結ぶ「のと里山海道」などの道路網が充実している。

- (1) 東京方面から 関越自動車道（若しくは中央自動車道、長野自動車道、上信越自動車道）、
⇒ 北陸自動車道 ⇒ 能越自動車道経由 約6時間
- (2) 名古屋方面から 名神自動車道 ⇒ 東海北陸自動車道 ⇒ 能越自動車道経由
約3時間15～30分
- (3) 大阪方面から 名神自動車道 ⇒ 北陸自動車道 ⇒ のと里山海道経由
約5時間
- (4) 富山県高岡方面から わくライナー（高岡⇄和倉温泉[特急バス]） 約1時間10分

〔アクセス図〕



【外国人観光客への対応】

コロナ禍前の和倉温泉の年間の外国人観光客の宿泊者数は約 2.8 万人(令和元年)であり、石川県に
来訪している外国人宿泊者数は約 76 万人(令和元年)であり、4%に満たない現状となっている。

石川県全体で見ると、令和 5 年の外国人宿泊者数は約 77 万人となり、コロナ禍前の令和元年と比較
すると約 7 千人の増となっている。

増加の要因としては、日本国内では新型コロナウイルス水際措置が終了し、WHOにおいても新型
コロナウイルス感染症を巡る緊急事態宣言の終了が発表され、新型コロナウイルス感染症の感染症法
上の位置づけが、季節性インフルエンザと同じ 5 類へ移行されたことに伴い、訪日需要が一挙に高ま
ってきていることがうかがえることから、国内外の状況を直視しつつ、インバウンド誘客の促進に努
めていかなければならない。

戦略としては、石川県のインバウンド戦略における重点市場と歩調をあわせ、アジアを主としなが
ら新規市場として、欧米豪市場（北欧・英・仏・豪）をターゲットとしつつ、多様な関係者とともに
、当DMOエリアの認知度の向上、戦略的な誘客の促進、受入環境整備を整えていく必要がある。

認知度の向上では、在日外国人インフルエンサー・国内在住メディアの招聘、国内旅行博への出展
、SNSを活用した情報発信を行っていく。

誘客の促進については、国内ランドオペレーターへの商談、海外メディアや旅行会社向けの情報提
供・セールスを行い、必要なプレゼンテーションを継続して行い誘客を図った。

具体的な取り組みの一つとして、日本のありのままを体験していただく、Japan well-being Trip
と題して、世界幸福度ランキング第2位のデンマークからの誘客に焦点を当て、ウエルネスツーリズ
ムを提供。現地エージェントとの調整を行いながら、オンラインツアー及びリアルツアーを実施し、
継続的に七尾・中能登エリアへの送客を可能とする仕組みを開発することができた。

受入環境整備については、当エリア内の観光振興に携わる方々を対象として、外国人に対する苦手
意識を払拭し、自ら進んで外国人に対応できるための必要な心構えや言葉が通じなくても「おもてな
し」が伝わる対応を学ぶ研修会を実施した。

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
観光入込客数	基本的な観光指標とし、観光消費額の算定、経済波及効果の分析、各観光施設の入込客数の把握及び分析	観光施設等への聞き取り及び観光案内所問い合わせデータ等（DMO）
延べ宿泊者数 （外国人延べ宿泊者数）	観光消費額の算定、経済波及効果の分析、各宿泊施設の宿泊者数の把握及び分析	各観光協会への聞き取り及び旅館組合提供データ等（DMO）
旅行消費額	観光消費の実態や経済への波及効果を把握	旅行者向けのアンケート調査（DMO）、各観光協会への聞き取り及び各種統計データの活用
来訪者満足度	観光客の旅行に関する実態・満足度、改善点などの把握	冬の満足度アップキャンペーン（DMO） 観光に関するアンケート調査（DMO）
リピーター率	観光客の旅行に関する実態・満足度、改善点などの把握	冬の満足度アップキャンペーン（DMO） 観光に関するアンケート調査（DMO）
WEBサイトのアクセ ス状況	観光客の関心度や傾向を通して、施策の 効果等などの把握	和倉温泉お祭り会館サイト閲覧数 （DMO） なお・なかのと観光 Navi 閲覧数 （DMO） すし王国能登七尾サイト閲覧数（DMO）
住民満足度	観光振興に対する地域住民の理解度を測 るため	冬の満足度アップキャンペーン（DMO） 観光に関するアンケート調査（DMO）

4. 戦略

(1) 地域における観光を取り巻く背景

※地域経済、社会等の状況を踏まえた観光地域づくりの背景

七尾市・中能登町エリアでは、少子高齢化の進展、人口減少、中山間地域の荒廃、空家・空地の増加など、数多くの新たな課題への対応が求められている。こうした中、のと里山空港の開港、北陸新幹線県内全線開業(敦賀延伸)、のと里山海道の無料化、能越自動車道の延伸など広域交通網の充実により、拠点性は飛躍的に高まっている。

また、日本で初めて世界農業遺産に認定された「能登の里山里海」、ユネスコ無形文化遺産に登録された「青柏祭の曳山行事」など当エリアの魅力が世界から評価される機運が高まってきている。

さらに、令和3年10月、地球環境に配慮した持続可能な観光地を選ぶ国際認証「GDTOP100選」の2021年版に、七尾市と中能登町が県内で初めて選ばれたことは、国連が掲げるSDGsへの関心が高まる中、訪日外国人の富裕層を中心とした誘客促進に期待を持つことができ、よりよい観光地づくりに努めていく必要がある。

インフラを代表する背景には、平成27年3月に開業した北陸新幹線金沢開業は、首都圏からのアクセスが飛躍的に改善され、多くの観光客で賑わいをみせたが、それから9年が経過しようとする中、七尾・中能登エリアにおける北陸新幹線の開業効果は落ち着いてきている。

課題は、能登は観光資源が多いものの、1,714千人(兼六園[令和4年])の金沢への観光客を能登へ導くことが出来ていない現状がある。

このような状況の中、令和5年度においては、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが季節性インフルエンザと同じ5類へ移行し、小松-台北便(エバー航空)などの国際便の運行が再開され、北陸新幹線県内全線開業により、観光需要が高まるとともに国際交流再開の動きが進んだ。

観光需要が高まる中で、令和5年5月5日の奥能登地震の風評被害により、和倉温泉ではキャンセルが発生したものの徐々に浴客数が増え回復してきた矢先、令和6年1月1日に発災した能登半島地震の影響により、旅館・商店・家屋の建物施設の損壊、道路・上下水道などのインフラに甚大な被害が生じ、能登半島全体が壊滅的な被害を受けた。

当DMOとしては、能登半島地震後において、すべての事業活動を中断することとなったが、震災前では観光データの収集を行いながら、観光誘客や受入環境の整備等を含む「ななお・なかのと観光振興プラン」の策定を進め、海外旅行需要が回復する中、ウェルネスツーリズムを軸としたオンラインツアー及びリアルツアーを実施し、インパウンドの誘客を図り、当エリアの認知度向上を図ったところである。

地震後の観光振興としては、復興に向けた「ななお・なかのと観光振興プラン」の策定を継続して行い、七尾市・中能登町に観光客等が安心して訪れることができるよう復旧・復興に努め、ホープツーリズムなどの旅行商品を造成し、地域経済の活性化を図る必要がある。

地域に息づく暮らし、自然、歴史、文化等に係る地域資源・観光商品のブラッシュアップを行い、復興へと向けたDMOエリア内の観光の魅力向上と三大都市圏を踏まえたキャラバン・商談会などに集中的・積極的に参加し、今行ける観光地をPRし、復旧・復興に関する正確な情報を発信していく必要がある。

(2) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	<p>強み (Strengths) ・自地域で積極的に活用できる強みは何か？</p> <p>①年間を通じて、祭事・イベントを楽しめる。 ②自然、歴史、まちなみ、文化、伝統、工芸、食など、他の地域と比較し優位性ある観光素材がある。これらは、欧米豪市場を中心に浸透するウエルネスツーリズム、サステナブルツーリズム、レスポンスブルツーリズム、アドベンチャーツーリズムに相応しいコンテンツとなる。 ③当エリアには、日本を代表するお祭りが年間を通じて催行され、非日常観を楽しめる。 ④体験を含め、歩いて町並みを観光できる。 ⑤開湯 1200 年の歴史を誇り、能登半島最大の宿泊拠点である和倉温泉がある。 ⑥教育旅行やスポーツ合宿滞在型交流が盛ん。 ⑦市内には、コミュニティバスやレンタサイクル、電動キックスケーター等の多様な交通手段がある。 ⑧SDGs（持続可能な開発目標）の取り組みの推進。（能登SDGs市民大学など）</p>	<p>弱み (Weaknesses) ・自地域で改善を必要とする弱みは何か？</p> <p>①「七尾市」「中能登町」の知名度の低さ ②中山間地域等における脆弱な二次交通 ③和倉温泉入込客数の伸び悩み ④滞在時間の延長 （泊食分離・ナイト観光の充実） ⑤外国人受け入れ環境整備の遅れ ⑥眠っている観光素材を活かしきれていない。 （観光素材の掘り起こし、磨き上げ） ⑦観光商品のプロモーション不足 ⑧観光ボランティアガイドの減少（高齢化） ⑨観光産業・時代を担う観光人材の人手不足 ⑩季節によって観光客数に変動があり、特に冬場における入込客数の減少が大きい。 ⑪北陸と言え、冬期間積雪があると思われる。（実際はさほど積もらない）</p>
外部環境	<p>機会 (Opportunity) ・自地域にとって追い風となる要素は何か？</p> <p>①能登半島に広がる「能登の里山里海」が日本で初めて世界農業遺産に認定。（H23.06） ②青柏祭の曳山行事が、全国 32 件の「山・鉦・屋台行事」とともに、ユネスコの無形文化遺産に登録された。 （H28.12／石川県で唯一） ③北陸新幹線県内全線開業や能越自動車道七尾氷見道路の全線開通により、首都圏などからの所要時間が大幅に短縮され、利便性が向上 ④北陸新幹線金沢開業効果により、首都圏だけでなく、東北地方からの観光客も誘客可能。 ⑤観光列車「花嫁のれん」「のと里山里海号」の運行（観光列車が 2 つある） ⑥全国的な城ブーム ⑦移住定住思考の高まり ⑧「いしかわ百万石文化祭 2023（第 38 回国民文化祭・第 23 回全国障害者芸術・文化祭）及び奥能登国際芸術祭における来県者等の増加 ⑨2025 (R07) 日本国際博覧会（大阪・関西万博）</p>	<p>脅威 (Threat) ・自地域にとって逆風となる要素は何か？</p> <p>① 少子高齢化に歯止めがかからない。 （地域の祭事・イベントの維持や衰退） ②新型コロナウイルス流行の不安 ③地域間競争の激化 ④多様化する情報発信ツール ⑤北陸新幹線敦賀延伸による乗り換えの影響 ⑥北陸新幹線敦賀延伸による特急の廃止 ⑦和倉温泉駅の無人化 ⑧旅行ニーズの多様化 ⑨能登半島地震の甚大な被害 ⑩地震による移住定住思考の停滞</p>

※上記に加え、PEST分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

(3) ターゲット

○第1ターゲット層

※ターゲット層については、地域だけでなく、国・地域・世代・誘客のテーマ等の顧客の属性による設定が考えられる。

三大都市圏（首都圏・関西圏・中京圏）

○選定の理由

※4. 戦略（1）・（2）の分析を踏まえたターゲット層の設定であることを説明すること。

石川県全体での令和3年の県外からの観光入り込み客数は、首都圏が1,967千人、関西圏が1,304千人、中京圏が1,029千人となり、三大都市圏（首都圏・関西圏・中京圏）をターゲットとしている。令和5年度の和倉温泉浴客動態調査（組合加盟旅館）からは、関東（北関東含む）1位、石川県2位、関西3位、中部4位、富山県5位、福井県6位、九州7位、東北8位となっている。

和倉温泉は、特急終着駅名が温泉地名となっていること、著名旅館のブランド力浸透などから県内他温泉地と比較しても首都圏客の割合が高く、かつ、北陸新幹線金沢開業効果もあり、首都圏からの宿泊客が最も多く、従来からの関西圏・中京圏の人気の高い。首都圏・関西圏・中京圏の宿泊客数は、約56%の割合となっており、県内客も非常に多く、地元型の温泉地であるといえる。

〔和倉温泉浴客動態調査（組合加盟旅館）〕

単位：人

項 目	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
石川県	宿 泊	169,444	155,337	128,126	124,987	115,963
	(内日帰り)	35,955	31,552	6,706	11,135	21,530
福井県	宿 泊	17,593	15,865	8,563	7,537	12,949
	(内日帰り)	592	1,037	367	154	694
富山県	宿 泊	71,070	62,118	28,171	24,078	46,632
	(内日帰り)	4,697	4,836	848	771	1,711
関 西	宿 泊	129,878	106,700	56,321	58,196	83,375
	(内日帰り)	506	377	91	78	594
中 部	宿 泊	104,111	104,021	50,958	54,745	88,001
	(内日帰り)	433	460	242	111	296
北関東	宿 泊	41,002	34,183	14,657	15,099	27,804
	(内日帰り)	310	344	171	202	383
関 東	宿 泊	183,052	154,247	70,295	82,430	132,904
	(内日帰り)	420	961	48	338	260
中 国	宿 泊	12,290	11,119	3,807	4,514	8,402
	(内日帰り)	10	593	0	6	10
東 北	宿 泊	18,820	14,655	4,374	3,775	8,528
	(内日帰り)	155	26	13	6	17
九 州	宿 泊	19,327	16,866	4,994	4,255	8,966
	(内日帰り)	93	49	44	32	15
四 国	宿 泊	4,596	4,495	1,224	1,462	2,635
	(内日帰り)	0	4	0	0	4
北海道	宿 泊	6,590	5,714	1,838	1,662	4,328
	(内日帰り)	5	5	0	2	2
外国人	宿 泊	30,787	28,624	50	50	5,104
	(内日帰り)	18	29	0	0	0
合 計	宿 泊	808,560	713,944	373,378	382,790	607,022
	(内日帰り)	43,194	40,273	8,530	12,835	26,751

※1月～3月は災害復旧事業者・自治体応援職員・災害ボランティアの受入（宿泊）あり。

上記の一覧表には、受入者数の人数はカウントしていない。

○取組方針

①新たな魅力ある商品の造成

県と連携した三大都市圏などへの出向宣伝・プロモーション会議・商談会への参加を「入口」として、首都圏等エージェンツに対して、当DMO独自の、旅行商品のプロモーション活動を展開していく。地域内の各団体及び関係者と綿密に連携し、観光客の多様なニーズに対応した当エリア独自の体験型観光プログラムや着地型商品の造成・開発を行い、積極的に売り込んでいく。

また、満足度調査などを分析し、分析結果に基づいてターゲットに訴求する観光コンテンツを磨き上げ、再来訪に繋げていく。

②ニッチなグループ客の獲得

旅のスタイルや嗜好は多様化しており、季節ごとに訴求する素材を明示し、対象となるニッチグループに訴求内容をアジャストさせ、効率的にアピールできるあり方で、来訪の動機が生まれるようなアプローチの方法及び仕組みづくりを構築していく。

② 認知度の向上及び多様な情報発信

県及びJRなどと連携したキャンペーンや大規模イベント等への出展、令和6年3月9日に移転オープンした石川県アンテナショップ「八重洲いしかわテラス」など各圏域でのアンテナショップでのPRなど、積極的に活動を展開していく。

また、更なる認知度向上のため、首都圏・中部・近畿・北陸といった都市圏を結ぶ高速道路(NEXCO中日本)サービスエリア、観光協定を締結しているJAF(自動車関連事業者)と連携したPR活動を行い、個人客・ファミリー層への観光誘客を図る。

総合パンフレット・観光情報ホームページ、SNSを通じて当エリアの魅力・情報を継続して発信していく。

○ターゲット層

第1ターゲット [東アジア(特に台湾・中国・香港)]

第2ターゲット [欧米(北欧・イギリス・フランス・アメリカ)]

第3ターゲット [豪州(オーストラリア)]

○選定の理由

石川県の外国人宿泊者数は、コロナ禍前では、新幹線沿線自治体やJR等との連携による取り組み等により、欧米豪方面からの旅行者が増加しており、中国をはじめとするアジアからの訪日リピーターの増加に伴い、石川県を訪れるアジアからの個人旅行者の増加が続いていた。

石川県全体での令和4年においては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う国の水際対策が徐々に緩められたことにより、年間を通して観光を目的とした入国が認められなかった令和3年と比較して、全ての国・地域からの宿泊者が大幅に増加した。

〔石川県の外国人宿泊者数〕

単位：人

区 分	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年
台湾	162,831	175,839	185,533	26,733	132	5,210
香港	58,942	66,654	68,913	8,172	73	5,395
中国	52,880	66,476	88,404	16,739	364	5,298
韓国	21,566	24,621	19,566	1,743	129	2,390
東南アジア	50,192	59,072	61,909	9,852	368	11,078
欧州	94,009	122,036	132,782	7,025	2,913	14,232
アメリカ	49,945	52,818	58,376	4,031	935	12,493
豪州	22,071	26,235	30,814	3,661	32	3,562
その他	93,983	90,111	120,973	19,288	2,927	15,548
合 計	606,419	683,862	767,270	97,244	7,873	75,206

統計からみた石川県の観光(令和4年)

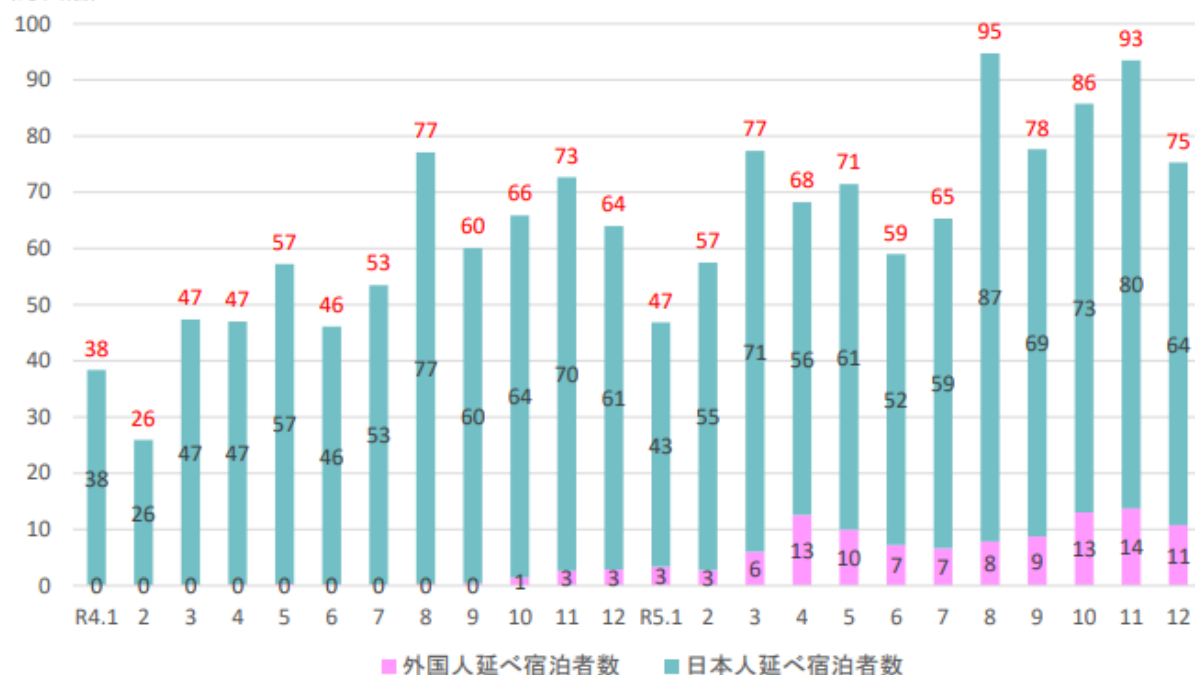
※「東南アジア」はインドネシア、マレーシア、シンガポール、タイの4か国

延べ宿泊者数



—石川県 延べ宿泊者数の推移—

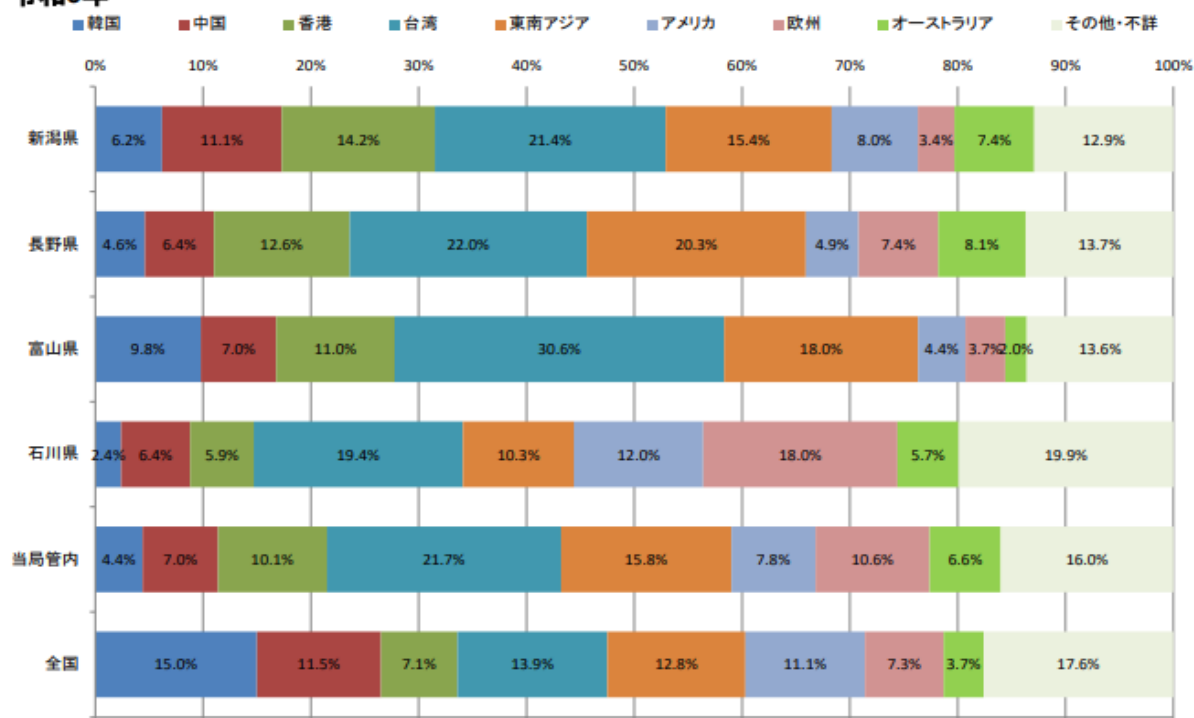
(万人泊)



【参考】国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数構成比



令和5年



※観光庁「宿泊旅行統計調査」による(確定値)。
 ※従業員数10人以上の施設。
 ※端数処理により、合計値が異なる場合がある。

※東南アジア=シンガポール・タイ・マレーシア・インドネシア・ベトナム・フィリピン
 ※欧州=ドイツ・イギリス・フランス・ロシア・イタリア・スペイン

令和5年の県内外国人宿泊者数は77万4千人と過去最多を更新した。

欧州からはロシアのウクライナ侵攻の影響で、中東経由の空路便が充実し、コロナ前の1.4倍となる18万8千人が訪れた。

円安を背景にアメリカは1.6倍、オーストラリアも1.5倍と好調となった。

アジア圏については、中部国際空港の国際線再開が遅れたことが響き、中国、香港は令和元年の約半数に低迷した。

全国的にみても欧米豪を中心に訪日客の間では、石川の人気が高まっている傾向となる。

1. 第1ターゲット〔東アジア（特に台湾・中国・香港）〕

これまで、当DMOエリア内の宿泊拠点地である和倉温泉浴客者（国内客）の将来減少を埋めるべく、台湾・中国・香港からの誘客路を築き、大型旅館を含め、数多くの旅館を有する強みを活かし、受け入れてきたが、能登半島地震の影響により、和倉温泉各旅館は甚大な被害を受け、休業の状況が続いている。

和倉温泉の復興時期を見据え、これからの伸び率の高さと伸長の可能性がある東アジアをこれまで同様に第1ターゲットとして選定している。

また、小松-台北便のデイリー運行が再開されたことも踏まえ、県と連携した台湾からの誘客拡大を図る。

2. 第2ターゲット〔欧米（北欧・イギリス・フランス・アメリカ）〕

第3ターゲット〔豪州（オーストラリア）〕

当DMOエリア内宿泊拠点地である和倉温泉浴客者数での外国人観光客実態調査においては、イギリス・フランス・アメリカの浴客者数が増加傾向にある。

欧米・豪州の訪日旅行の嗜好は、自然体験型・文化体験型が人気であり、パッケージツアーなどで団体が訪れるようなエリアではなく、あまり知られていないところや、少し変わったところに行きたいという要望が比較的に多い。

このことから、多彩な観光資源をコンパクトに有している当エリアにおいて、自然・歴史・文化的な観光資源への関心が高い、欧米・豪州をターゲット層として開拓していく。

とりわけ、富裕層を多く抱え、ロングホールデスティネーションである日本への旅が可能な旅行者が多く、存在する市場である英・仏及び近年、日本が英国・米国と並び、人気のデスティネーションとなってきた豪州をターゲットとする。

また、当エリアには自然・歴史文化・伝統工芸・温泉・寺院など非日常感を堪能できる観光素材があり、明日への活力に繋がる旅ができる場所として観光素材を磨きあげ、世界幸福度ランキングが高くウェルビーイングの世界最先端の先進地域である北欧について、トライアル的なターゲットとする。

〔外国人観光客実態調査票（和倉温泉旅館協同組合）〕

単位：人

区 分		平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
	台湾	12,079	16,409	14,247	10	0	1,781	8,895
	香港	7,111	7,687	7,241	10	0	1,459	2,459
	中国	2,295	2,687	2,733	4	0	525	1,525
	韓国	438	413	572	2	0	95	341
東南 アジ ア	シンガポール	321	565	466	0	0	340	577
	タイ	173	62	224	2	4	81	96
	マレーシア	33	6	23	0	0	20	51
	インドネシア	15	46	76	0	0	9	13
欧州	イギリス	40	540	174	0	0	40	151
	ドイツ	15	59	40	3	0	13	91
	フランス	32	84	92	4	0	11	170
	オランダ	3	20	25	0	0	2	8
	イタリア	2	8	6	0	0	0	10
	スイス	23	28	54	6	0	7	40
	スペイン	0	0	5	0	0	1	16
	デンマーク	0	0	6	0	0	0	5
	スウェーデン	25	6	16	0	0	0	4
	ベルギー	4	0	8	0	0	15	6
	アメリカ	636	524	890	3	0	240	1,698
豪州	オーストラリア	109	92	309	0	2	182	177
	ニュージーランド	0	6	10	0	0	2	20
	カナダ	204	167	273	0	0	62	323
	ブラジル	41	0	4	0	0	2	7
	アフリカ	4	0	41	0	0	3	4
	フィリピン	2	179	77	0	0	20	43
	ベトナム	0	0	231	2	0	0	0
	インド	0	0	5	0	0	0	12
	イスラエル	0	6	6	0	0	79	212
	ロシア	0	30	17	0	0	14	0
	その他	1,130	1,181	782	4	0	131	600
合 計		24,735	30,805	28,653	50	6	5,134	17,554

※能登半島地震の影響により、1月1日から各旅館は営業停止（4月～12月までの集計）

〔各観光案内所 訪日外国人利用者（国籍別）〕

単位：人

項 目		七尾駅観光案内所				和倉温泉駅観光案内所			
		令和 元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
アジア	韓国	16	7	6	7	26	1	8	25
	台湾	167	7	0	20	286	7	0	95
	中国	143	2	7	26	193	5	7	31
	香港	92	1	0	20	113	0	0	47
	タイ	8	3	0	2	3	2	0	2
	シンガポール	10	0	0	4	32	0	0	20
	ベトナム	23	5	8	0	4	0	0	4
	マレーシア	0	0	0	5	0	0	0	6
	インドネシア	0	0	0	7	0	0	1	6
	フィリピン	0	0	0	8	0	0	0	12
	インド	0	0	0	0	0	0	1	0
	マカオ	0	0	0	6	0	0	0	0
	パキスタン	0	0	0	5	0	0	0	0
	ミャンマー	0	0	3	10	0	0	0	1
	ネパール	0	0	0	0	0	0	0	2
	その他	10	29	24	37	29	0	8	23
中東	イスラエル	1	0	0	3	2	0	0	0
	トルコ	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他中東	0	0	0	0	0	0	0	6
欧州	イギリス	6	0	0	5	15	1	2	1
	フランス	24	0	0	0	52	3	0	4
	ドイツ	0	0	0	0	0	0	0	4
	イタリア	0	0	0	5	11	4	0	0
	スペイン	9	0	0	4	15	0	0	1
	スイス	13	0	0	2	12	0	0	0
	オーストリア	0	0	0	2	0	0	0	0
	フィンランド	0	0	0	0	0	0	0	2
	ポーランド	0	0	0	0	0	0	0	1
	ロシア	0	0	4	0	0	0	0	1
	その他	36	0	4	1	51	3	0	4
北米	アメリカ	25	2	2	12	63	1	4	26
	カナダ	16	0	0	0	25	0	0	4
	その他北米	0	0	0	0	0	0	0	2
アフリカ	エジプト	0	0	0	2	0	0	0	0
中南米	ブラジル	3	0	0	4	2	0	0	2
	アルゼンチン	0	0	0	0	0	0	0	0
	チリ	1	0	0	0	0	0	0	0
	その他	47	1	0	1	55	0	0	9
地域不明		49	7	2	13	28	0	5	59
合 計		699	64	60	211	1,017	27	36	400

出所：（一社）ななお・なかのとDMO

項 目		七尾駅観光案内所				和倉温泉駅観光案内所			
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
アジア	韓国	18				31			
	台湾	136				265			
	中国	54				78			
	香港	48				86			
	タイ	4				10			
	シンガポール	12				38			
	ベトナム					2			
	マレーシア	2				7			
	インドネシア	3				4			
	フィリピン	16				13			
	インド					0			
	マカオ					2			
	パキスタン	0							
	ミャンマー	3				0			
	ネパール	6				0			
	その他	116				397			
中東	イスラエル	0				9			
	トルコ	0							
	その他中東	0				3			
欧州	イギリス	3				21			
	フランス	42				31			
	ドイツ	7				29			
	イタリア	9				6			
	スペイン	4				7			
	スイス	12				13			
	オーストリア	0				8			
	フィンランド	0				1			
	ポーランド	5				4			
	ロシア	2				1			
	その他	28				18			
北米	アメリカ	42				51			
	カナダ	7				20			
	その他北米	3				8			
アフリカ	エジプト	0				4			
中南米	ブラジル	2				2			
	アルゼンチン								
	チリ								
	その他	3				3			
地域不明		58				347			
合 計		645				1,519			

出所：(一社)ななお・なかのとDMO

○取組方針

令和4年と令和5年を比較すると、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが季節性インフルエンザと同じ5類へ移行し、小松-台北便などの国際便の運行が再開され、北陸新幹線県内全線開業により、観光需要が高まり国際交流再開の動きも進み、各国の訪日観光客は大きな伸び率で推移している状況となる。

石川県全体での令和4年においては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う国の水際対策が徐々に緩められたことにより、年間を通して観光を目的とした入国が認められなかった令和3年と比較して、全ての国・地域からの宿泊者が大幅に増加に転じたことを前提にした取組方針となる。

<全体>

- ・石川県内に宿泊するインバウンドは77.4万人(令和5年)、当エリアの宿泊拠点地である和倉温泉では、1.8万人(令和5年)となり、金沢市まで来ているインバウンドには能登が観光地として認識されておらず、インバウンドの誘客を考えると、まずは当エリアを含む能登全体の認知度を高めていかなければならない。
- ・能登半島全体の魅力で、当エリアにも誘客を図り、国、地域ごとの嗜好等に応じて、観光スポットや体験プログラム等の情報を発信していく必要がある。
- ・開発する観光商品においては、金沢とのセット感をイメージさせる要素を含めさせ、誘客効果を浸透させる。
- ・多言語によるWebページ・パンフレットの充実、歴史・文化映像コンテンツなどを活用した当エリアの魅力を発信する。
- ・北陸新幹線を利用した「新ゴールデンルート」の定着を図り、JR等が販売する広域周遊パス(アーチパス)を活用したFIT層の誘客を図る。
- ・外国人対応のノウハウを持つ通訳案内士を講師とし、外国人対応についてのガイド育成を行い、外国語対応ができる人材バンク登録を進めていく。
- ・公衆無線LAN環境整備、公衆トイレの洋式化、多言語案内看板の設置、キャッシュレス化の導入、観光案内所の機能強化などインバウンドがストレス無く訪れることのできる受入環境整備を行う。

<台湾・中国・香港>

○体験(温泉・湯治、伝統行事・祭)した人の満足度は高い。

○リピーター率も高く、日本は大人気の訪日旅行先となっている。

○東アジア圏が好む旅行テーマは「健康・アウトドア・地方文化」となっており人気が高い。

- ・リラックスしたい(食・買い物)
- ・自分磨き(SNS投稿、話題の場所・スポット)
- ・家族へのもてなし(子どもに経験させたい[子どもへの教育])
- ・その土地ならではの旅(歴史・文化の体験[日本古来の風習])

○能登ではアジア系インバウンドが好む本物の日本食素材が豊富にあり、里山里海の変化に富んだ地形も潜在的な魅力となる。和倉温泉での健康滞在(当エリアの大型病院連携)、豊かな自然を利用した体験プログラム等を活かしたコンテンツなどを開発し、滞在地としての魅力・利便性を高める。

○各国(市場)に対する拡散力を持つインフルエンサーを招聘し、当エリアでの観光コンテンツを体験し、外国人目線での体験記事を各メディアへ発信し、誘客を促進する。

<北欧・イギリス・フランス・オーストラリア>

○海外旅行の意欲は高く、滞在日数が長く、消費額が高い欧州・豪州市場は、海外渡航全般については、期待は高まっている。

- ・リラックスしたい(パートナーと過ごしたい)
- ・その土地ならではの旅(異文化体験、海・川・山など自然系、ナイトライフ)
(冒険心を満たしたい、秘境へ行きたい)・・・アドベンチャーツーリズム
- ・自分磨き(趣味を楽しみたい、現地の人との交流)

- 伝統文化体験希望が増加し、ショッピング等も大きい。
冬場は温泉や歴史的な場所に興味が、夏場は食・自然・アウトドア体験を好む嗜好からニーズにあった商品を開発し、情報発信を行いながら誘客の促進を図る。
- 「サイクリングツアー」「世界農業遺産ガイドツアー」「祭ガイドツアー」など、具体的なニーズが顕在化しているテーマを探り、当エリアを含んだ能登のブランドイメージに沿ったテーマ訴求型誘客観光商品の造成を図り、誘客を促進する。
- 新たな開拓市場となる欧州・豪州に対して、海外メディアや旅行会社向けの情報提供・セールスを行うウェビナーを開催し、情報提供・セールスを行うためのプレゼンテーションツールを作成し、継続した誘客を促進する。
- 令和3年10月に地球環境に配慮した持続可能な観光地を選ぶ国際認証機関 GreenDestination「世界トップ100選」2021版に当エリアが選ばれたことを海外メディアや旅行会社に対して、積極的にPRを行っていく。
- 北陸新幹線や旅行会社と連携したレインボールート（北陸経由ゴールデンルート）の活用

（４）観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	<p>※他地域と明確に区別できる特徴・価値等を来訪者に伝える表現を簡潔に設定すること。</p> <p style="text-align: center;">— 能登 ど真ん中 —</p> <p style="text-align: center;">日本を代表する滞在型リゾートエリア</p>
②コンセプトの考え方	<p>※地域が目指すべき姿を明確にし、そのために地域ならではの産業、伝統、食、住、風習等やそこから導き出される区域の特徴（強み、価値）を、①コンセプトにどのように反映させているかについて他地域との差別化も踏まえて記入すること。</p> <p>※（１）～（３）のデータ分析の内容を踏まえて作成したコンセプトであることを説明すること。</p> <p>年間約80万人が訪れる滞在拠点地・海のリゾート和倉温泉の海と癒しの魅力、能登島の自然とともにあるライフスタイルと能登の原風景の魅力、七尾市街地の北前船の歴史や花嫁のれんなどの婚礼文化、ユネスコ無形文化遺産に登録されている「青柏祭の曳山行事」など四季を通したお祭り、中能登地域の里山文化、そして全般に横たわる大陸文化の影響と能登国の古層資源、金沢文化に連なる前田家文化など、歴史・文化・自然・食などの観光資源の宝庫である。</p> <p>加えて平成23年6月、「能登の里山里海」が日本で初めて世界農業遺産に認定され、令和3年10月には、世界の持続可能観光地トップ100選に選ばれたことは当エリアにとっては優位性をもたらすものである。</p> <p>観光を通じて交流・関係人口の創出を図り、SDGsへの関心を高め、新たな価値の意識付けを行い、この素晴らしい地域において、単発・短期間滞在ではなく、非日常感を感じ、長期滞在しながら深く味わってもらえる・満足していただけるような滞在型リゾートエリア（ウェルネスツーリズム）を目指すものである。</p>

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	※戦略の共有方法について記入すること (例) 部会、ワーキンググループ、HP、事業報告書の説明会
	<p>(例) DMOを中心として、地域の関連事業者を集めてコミュニケーションの場を〇月に1回程度設けるとともに、関連事業者に対してのコンサルティング等を実施。</p> <p>(例) 活動の意義・内容・成果、KPIの達成状況や取組による地域経済・社会の変化の分析結果等を記載した事業報告書を作成し、地域の関係者に説明を行うとともに、HPで公表。</p> <p>観光関係事業者を中心に、多様な団体が事業活動に賛同(正会員：観光協会・宿泊業・行政・経済界・特産品(食)・交通事業者・金融・その他企業)し、構成されている法人で、DMO会員の総会を年一回以上、業務執行などの意思決定を行う理事会を年4回以上、随時開催している。</p> <p>また、各種事業を進める上で、地域関係者、外部有識者及び地域のキーマンとなる外部団体(個人)などを交えたヒアリング及び検討会などを実施し、事業を展開している。</p> <p>さらに、主として市民向けに活動内容等を理解していただくために、不定期となるが、行政の広報及び新聞記事に掲載し、周知啓発を行っている。</p> <p>観光戦略プランの策定にあたっては、上記関係団体が参画し、コンテンツ毎にグループワークなどをこれまで数回開催し、観光戦略プランを策定してきている。多方面からの意見を吸い上げ、継続した協力体制を維持しながら、能登半島地震からの復興を見据えた観光戦略プランの見直しを行い、関係者との戦略の共有及び地域連携を図っていく。</p> <p>あわせて、活動の意義・内容・成果、KPI達成状況などを広く周知するため、公式サイトで公表できるよう、サイトの機能を充実していく。</p>
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	<p>(例) 飲食店や宿泊施設をはじめとする地域が提供する観光サービスに係る品質保証制度を実施。</p> <p>DMO公式サイト(ななお・なかのと観光Navi)に会員団体や関連団体の主催する各種体験プログラム(観光スポット紹介等)やキャンペーンなどを掲載。</p> <p>独自の観光に関するアンケート調査を継続し、満足度などを集計した分析結果を関係団体などへフィードバックしながら、観光客からの改善意見などの対応策も含めて情報共有を図る。</p> <p>ボランティアガイド及び賛助会員、旅館従業員などを対象にした「インバウンド対応能力」「おもてなし研修」を継続して行い、当エリア内でのおもてなし力の向上及び人材育成を図った。</p>

<p>観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション</p>	<p>(例) ワンストップ窓口の実施、SNS を利用した効果的なプロモーションの実施。</p> <p>前述のように、公式サイトに会員団体や関連団体の主催する各種体験プログラムやイベント・キャンペーンなどの観光情報を集約し、発信していくとともに、多様な関係者と連携した魅力ある観光商品の造成やイベントなどをプロデュースし、適切な時期を見極めながら、集中的にプロモーションを実施。</p> <p>さらに、多様な旅行者ニーズの対応として、SNS での情報発信を随時行い、旅前などの旅行情報を知り得ることができる対応を実施。</p>
--	--

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

6. K P I（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後3年間における明確な数値目標を記入すること。

※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去3年間の実績も記入すること。

（1）必須K P I

指標項目		2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
●旅行消費額 (百万円)	目標	9,432 (—)	11,363 (—)	16,204 (—)	()	()	()
	実績	9,956 (—)	15,145 (—)	12,600 (—)			
●延べ宿泊者数 (千人)	目標	518 (0)	734 (15)	955 (25)	()	()	()
	実績	559 (0.1)	746 (5.1)	540 (18)			
●来訪者満足度 (%)	目標	6.1 (—)	6.2 (—)	6.3 (—)	()	()	()
	実績	6.2 (—)	5.9 (—)	— (—)			
●リピーター率 (%)	目標	76 (—)	77 (—)	78 (—)	()	()	()
	実績	71.1 (—)	63.8 (—)	— (—)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

※昨年度より第二次観光振興プランの策定を進めていたところ能登半島地震の影響により策定業務を中止したため、今後3年間における明確な数値目標を記入が困難となっている。

基幹的なK P I 値については、行政及び和倉温泉旅館協同組合と調整し、七尾市が策定した「第2次七尾市総合計画」「七尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の各種指標の目標値を勘案し、必須K P I を設定した。() 内は外国人に関する実績、目標数となる。

【設定にあたっての考え方】

●旅行消費額

七尾市（和倉温泉消費額調べ〔和倉温泉旅館協同組合加入施設〕）＋中能登町調べ

※補足の旅行消費額などの調査として、「観光に関するアンケート」を実施している。

アンケート実施場所（和倉温泉お祭り会館・花嫁のれん館）

●延べ宿泊者数

七尾市（七尾市全域の宿泊施設での宿泊者数）＋中能登町調べ

※七尾市総合戦略のK P I を基に設定。⇒ 目標値：令和6年度 115万人

●来訪者満足度

※来訪者に関する満足度調査が未実施の場合、「観光地の満足度調査」

(<https://www.mlit.go.jp/kankocho/shisaku/kankochi/manzokudochousa.html>) を参照して実施し、例えば、毎年〇%増などの目標を設定して記入すること。

2019 年(平成 30 年度)より開始している「和倉温泉満足度アップキャンペーン」による調査を基に設定。(和倉温泉各旅館の宿泊客からの意見を収集)

「和倉温泉満足度アップキャンペーン」において、「本地域滞在の総合満足度」に関する 7 段階評価のうち上位 2 つの「大変満足」「満足」のポイントを採用。毎年 0.1 ポイントの増加を目標として設定。

※補足の総合満足度などの調査として、「観光に関するアンケート」を実施している。

アンケート実施場所(和倉温泉お祭会館・花嫁のれん館)

※令和 5 年度の調査については、能登半島地震の影響により、調査中止。

●リピーター率

2019 年(平成 30 年度)より開始している「和倉温泉満足度アップキャンペーン」による調査を元に設定。(和倉温泉各旅館の宿泊客からの意見を収集)

「和倉温泉満足度アップキャンペーン」において、本地域への来訪回数が「2 回目」以上と回答した観光客の割合を採用。毎年 1 ポイントの増加を目標として設定。

※令和 5 年度の調査については、能登半島地震の影響により、調査中止。

(2) その他の目標

指標項目		2021 (R 3) 年度	2022 (R 4) 年度	2023 (R 5) 年度	2024 (R 6) 年度	2025 (R 7) 年度	2026 (R 8) 年度
●観光入込客数 (千人)	目標	2,300 (—)	2,628 (—)	2,978 (—)	()	()	()
	実績	2,276 (—)	3,193 (—)	2,773 (—)			
●滞在総合満足度 (7 段階評価 P)	目標	6.1 (—)	6.2 (—)	6.3 (—)	()	()	()
	実績	5.4 (—)	5.7 (—)	5.9 (—)			
●和倉温泉連泊客数(人) (2 泊 3 日以上)	目標	13,000 (—)	26,000 (—)	30,000 (—)	()	()	()
	実績	22,669 (—)	32,811 (—)	37,479 (—)			
●和倉温泉お祭り会館閲覧数 (件)	目標	75,000 (—)	94,500 (—)	96,000 (—)	()	()	()
	実績	62,147 (—)	54,634 (—)	59,226 (—)			
●	目標	()	()	()	()	()	()
	実績	()	()	()			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

※KPIとして設定する項目や年次及び目標数値に関して、その検討のプロセスや考え方を項目ごとに出来る限り具体的に記入すること。

滞在総合満足度については、広く観光客の意見を収集し課題整理を行っていくため、令和2年度から当法人が独自で行っている「観光に関するアンケート調査」を継続して行い、調査場所を拡大していく。(令和5年度現在の調査場所：和倉温泉お祭り会館・花嫁のれん館)

和倉温泉お祭り会館閲覧数については自己財源確保に向け、安定的な運営が図れるようお祭り会館の認知度を高めていくため、HPのページビュー数(閲覧数)を目標値とする。

【設定にあたっての考え方】

●観光入込客数

最も基本的な観光指標として目標値を設定。

第2次七尾市総合計画の目標値をもとに設定(令和10年度目標値：430万人)

第2次中能登町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標値をもとに設定

(令和6年度目標値：30万人)

●滞在総合満足度

「観光に関するアンケート調査」において、「滞在中の総合満足度」に関する7段階評価のうち上位2つの「大変満足」「満足」のポイントを採用。

必須KPIの来訪者満足度の同じ目標値を設定。

●和倉温泉連泊客数

和倉温泉旅館協同組合が加盟旅館よりデータを収集している。(2泊3日以上での連泊客数)

データを収集し始めた初年度(平成28年度)をベース年と考え、今後ベース年を上回れる取組を推進する上での目標値を設定。[参考／平成28年度：33,061人、平成29年度：29,758人]

●和倉温泉お祭り会館閲覧数

令和2年度は6月オープンで4～5月の閲覧数が各月5,000以下だったにも関わらず、オープン以降は10,000ビュー／回以上を示していたが、後半は冬場の閑散期、コロナ禍が加速したことにより、大きく閲覧数は減少した。令和3年度は観光施設という性格上、和倉温泉の宿泊客を中心とした観光客の増加につれて閲覧数は向上すると思われるが、極端な増加要因が無い場合令和2年度後半の閲覧数を加算し、目標値(75,000ビュー)を設定。令和4・5年度は令和3年度の落ち込み分をクリアした閲覧数を基準とし、観光施設として認知度が進むことを勘案して目標値を設定。

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後3年間について、計画年度毎に（１）収入、（２）支出を記入すること。

※現に活動している法人にあっては、過去3年間の実績も記入すること。

（１）収入

年（年度）	総収入（円）	内訳（具体的に記入すること）（円）
2021（Ｒ３） 年度【決算】	160,460,175	【国からの補助金】 48,206,870 【県・市・町からの補助金】 75,061,089 【指定管理料】 20,346,724 【会費】 1,035,000 【収益事業】 14,144,275 【雑収益】 1,666,217
2022（Ｒ４） 年度【決算】	124,255,995	【国からの補助金】 14,995,950 【県・市・町からの補助金】 60,424,000 【指定管理料】 26,550,621 【会費】 1,095,000 【収益事業】 19,232,702 【雑収益】 1,957,722
2023（Ｒ５） 年度【決算】	144,755,496	【国からの補助金】 11,010,000 【県・市・町からの補助金】 70,470,451 【指定管理料】 34,228,932 【会費】 1,105,000 【収益事業】 15,960,686 【雑収益】 11,980,427
2024（Ｒ６） 年度【見込み】	95,792,000	【国からの補助金】 0 【県・市・町からの補助金】 50,000,000 【指定管理料】 24,697,000 【会費】 0 【収益事業】 20,000,000 【雑収益】 1,000,000
2025（Ｒ７） 年度【見込み】	96,792,000	【国からの補助金】 0 【県・市・町からの補助金】 50,000,000 【指定管理料】 24,697,000 【会費】 1,095,000 【収益事業】 20,000,000 【雑収益】 1,000,000
2026（Ｒ８） 年度【見込み】	96,792,000	【国からの補助金】 0 【県・市・町からの補助金】 50,000,000 【指定管理料】 24,697,000 【会費】 1,095,000 【収益事業】 20,000,000 【雑収益】 1,000,000

(2) 支出

年(年度)	総支出(円)	内訳(具体的に記入すること)(円)
2022(R3) 年度【決算】	160,197,989	【一般管理費等】 29,206,072 【観光案内所事業】 5,352,832 【LiVing History 促進事業】 2,015,857 【文化観光拠点施設推進事業】 9,944,760 【七尾まちなか賑わい創出事業】 973,361 【まちなか周遊レンタサイクル整備事業】 1,188,006 【観光PR集中プロモーション事業】 20,209,200 【安心して訪日観光ができる観光事業】 19,874,800 【地域の観光資源の磨き上げ実証事業】 14,994,100 【既存観光拠点再生・高付加価値事業】 19,961,944 【いしかわの体験型観光素材開発事業】 642,240 【DMO本登録等アドバイス事業】 2,189,000 【収益事業会計(指定管理)】 33,645,817
2021(R4) 年度【決算】	115,305,099	【一般管理費等】 42,834,792 【観光案内所事業】 5,469,440 【能登ふるさと博事業】 2,562,000 【ウエルネスツーリズム推進事業】 8,108,507 【文化観光拠点施設推進事業】 2,525,300 【安心して訪日観光ができる観光事業】 8,289,038 【収益事業会計】 2,754,662 【収益事業会計(指定管理)】 42,761,360
2022(R5) 年度【決算】	141,734,346	【一般管理費】 57,874,766 【観光案内所事業】 4,982,827 【能登ふるさと博事業】 4,564,782 【北陸DCに向けた観光素材開発事業】 5,052,702 【観光地の再生・観光サービス業】 7,700,004 【整う能登のウエルネス事業】 7,928,785 【国民文化祭事業】 819,101 【インバウンド観光コンテンツ造成】 6,142,180 【収益事業会計】 3,776,555 【収益事業会計(指定管理)】 42,892,644
2023(R6) 年度【見込み】	94,000,000	【一般管理費】 36,000,000 【観光案内所事業】 3,000,000 【観光地域づくり事業】 10,000,000 【収益事業会計】 3,000,000 【収益事業会計(指定管理)】 42,000,000
2024(R7) 年度【見込み】	96,500,000	【一般管理費】 36,000,000 【観光案内所事業】 5,500,000 【観光地域づくり事業】 10,000,000 【収益事業会計】 3,000,000 【収益事業会計(指定管理)】 42,000,000

2025（R8） 年度【見込み】	96,500,000	【一般管理費】	36,000,000
		【観光案内所事業】	5,500,000
		【観光地域づくり事業】	10,000,000
		【収益事業会計】	3,000,000
		【収益事業会計（指定管理）】	42,000,000

（３）自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

区域を構成する地方公共団体における宿泊税の導入、着地型旅行商品の造成・販売等の取組・方針を記載

- ・ 安定的な運営が図られるよう、七尾市と中能登町からの継続した財政支援を要望していく。
- ・ 着地型旅行商品のプロモーション活動・ツアー企画の造成を積極的に実施するとともに、旅行会社への魅力ある新たな旅行商品の造成・販売及び誘客促進を行い、自主財源の確保に努める。
- ・ 自己財源（会費）の確保を図るため、各種研修会及びセミナーの開催、観光に関する情報のフィードバック、会員のメリットを強化し、新規会員数を増やしていく。
- ・ 和倉温泉お祭り会館など、適正な指定管理を行いながら、管理運営と一体となった自主事業を展開し、自主財源の確保に努める。
- ・ 収益事業（各種クーポン）の販売及び収益性が高いクーポンの検討・開発
- ・ 国内旅行業務取扱管理者の育成

8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

※設定対象区域の都道府県及び市町村が、本法人を当該都道府県・市町村における観光地域づくり法人として認める旨を含む意見を記入すること。

七尾市と中能登町は、一般社団法人ななお・なかのとDMOを当エリアにおける地域連携DMOとして登録したいので、一般社団法人ななお・なかのとDMOとともに申請します。

9. マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携DMO（県単位以外）や地域DMOと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

【他の地域連携DMOや地域DMOとの間で、重複区域に関する連携や役割分担等について協議を行った（行っている）か】

- ・ エリアが重複している地域連携DMO（公社）石川県観光連盟とは、連盟が実施する理事会、能登地域委員会に参加し、意見調整している。
- ・ エリアが重複している地域連携DMO「候補DMO」（一社）能登半島広域観光協会とは、不定期ではあるが、情報交換会を行い、各取組及び将来を見据えた事業方針等の意見交換会を行っている。

【区域が重複する背景】

- ・ （公社）石川県観光連盟は石川県内を区域とし、（一社）能登半島広域観光協会は能登地域を区域としている。七尾市・中能登町エリアについては、当法人の区域となり、当然のことながら当エリアで観光地域づくりを担っている。

【重複区域における、それぞれの DMO の役割分担について】

- ・ 広域での活動は(公社)石川県観光連盟が行い、11 市 8 町からなる 19 市町(能登地域・金沢地域・加賀地域)との連携・調整を進めている。
- ・ 能登地域全体での広域活動は(一社)能登半島広域観光協会が行い、4 市 5 町からなる 9 市町(能登地域)との連携・調整を進めている。
- ・ 当法人は、前述のとおり七尾市・中能登町エリアを中心に事業を展開しており、(公社)石川県観光連盟及び(一社)能登半島広域観光協会が当エリアを対象にする事業がある場合は、相互に連携・協力を行っている。

【前述の役割分担等によって、効率的、効果的な活動の遂行が期待できるか】

- ・ 互いに取り組む事業区域は把握しており、事業活動が重複しないように留意しながら、効率的に事業を展開することにより、石川県及び能登地域全域での相乗効果が期待できる。

10. 記入担当者連絡先

担当者氏名	遠藤 敦
担当部署名（役職）	事務局長（専務理事）
郵便番号	929-2121
所在地	石川県七尾市和倉町2部13番地1
電話番号（直通）	0767-62-0900
FAX番号	0767-62-0901
E-mail	a-endou@nn-dmo.or.jp

11. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	七尾市
担当者氏名	立川 淳
担当部署名（役職）	交流推進課（課長）
郵便番号	926-8611
所在地	石川県七尾市袖ヶ江町イ部25番地
電話番号（直通）	0767-53-8424
FAX番号	0767-52-2812
E-mail	tatsukawa@city.nanao.lg.jp

都道府県・市町村名	中能登町
担当者氏名	岩田 正
担当部署名（役職）	企画情報課（課長）
郵便番号	929-1792
所在地	石川県鹿島郡中能登町末坂9部46番地
電話番号（直通）	0767-74-2806
FAX番号	0767-74-1300
E-mail	kikaku@town.nakanoto.ishikawa.jp

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】

石川県 七尾市、中能登町

【設立時期】平成29年11月28日

【設立経緯】

区域に観光協会があるが、役割分担等をした上でDMO新設

【代表者】理事長 谷崎 裕

【マーケティング責任者(CMO)】遠藤敦 専務理事(兼)事務局長

【財務責任者(CFO)】遠藤敦 専務理事(兼)事務局長

【職員数】常勤5人(正職員5人)

【主な収入】

市・町補助金 70百万円、収益事業 16百万円(5年度決算)

【総支出】

事業費 83百万円、一般管理費 57百万円(5年度決算)

【連携する主な事業者】

和倉温泉観光協会、能登島観光協会、中能登町観光協会、和倉温泉旅館協同組合、(一社)能登半島広域観光協会等

KPI(実績・目標)

記入日: 令和6年7月31日

※()内は外国人に関するもの。

項目		2021 (R3)年	2022 (R4)年	2023 (R5)年	2024 (R6)年	2025 (R7)年	2026 (R8)年
旅行 消費額 (百万円)	目標	9,432 ()	11,363 ()	16,204 ()	()	()	()
	実績	9,956 ()	15,145 ()	12,600 ()	—	—	—
延べ 宿泊者数 (千人)	目標	518 (0)	734 (15)	955 (25)	()	()	()
	実績	559 (0.1)	746 (5.1)	637 (18)	—	—	—
来訪者 満足度 (%)	目標	6.1 ()	6.2 ()	6.3 ()	()	()	()
	実績	6.2 ()	5.9 ()	— ()	—	—	—
リピーター率 (%)	目標	76 ()	77 ()	78 ()	()	()	()
	実績	71.1 ()	63.8 ()	— ()	—	—	—

※来訪者満足度、リピーター率については、能登半島地震の影響により調査未実施

※同様の事由により、第二次観光振興プランの策定が中止となったため、今後3年間における数値目標記入不可

戦略

【主なターゲット】

[国内需要]・三大都市圏(首都・関西・中京圏)

[インバウンド]・東アジア、欧米、豪州

【ターゲットの誘客に向けた取組方針】

[国内需要]・新たな魅力ある商品の造成、ニッチなグループ客の獲得、多様な情報発信等

[インバウンド]・能登半島全体の魅力発信による誘客、多言語による情報発信等

[総合]・能登半島地震からの復興

【観光地域づくりのコンセプト】

—能登ど真ん中—日本を代表する滞在型リゾートエリア

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】

・広域周遊観光促進(専門家派遣事業)

・海外プロモーション事業

・旅行商品の造成

・インバウンド地方誘客等観光コンテンツ

造成支援事業

・北陸DCに向けた観光素材開発事業

【受入環境整備】

・わくわく英会話教室の実施

・訪日外国人おもてなし研修

・観光案内所の管理運営

・緑のまちづくりモデル事業

【情報発信・プロモーション】

・観光データ収集事業

・日本観光ショーケース等出展

・インバウンドモニターツアー実施

・SNSなどの媒体を活用した情報発信

・商談会、プロモーション会議への参加

【その他】

・観光振興プラン策定に係るWS開催

・観光誘客状況調査(独自調査)

・着地型旅行商品(各種クーポン)の造成、販売

・指定管理施設の管理運営

